

中央大学学員会 中大技術士会支部 ニュースレターvol.57

会員の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年は年始早々、箱根駅伝での中大の活躍は素晴らしかったですね。私はこの二日間、学生時代の同期とLINEで連絡を取り合い、かたずをのんで応援しました。

中大の箱根駅伝全盛期は私が生まれる前の1940年代後半から60年代前半ごろのようでしたが、私の記憶では、1990年に往路優勝、96年に優勝、2001年に往路優勝がありました。その後は暫くの間、これまでの「勢い」が見られなくなり、一度は「予選会敗退」という残念な時期もありました。

しかし、今年の「2位」という結果は、箱根駅伝最多出場、最多優勝を誇る我が中大の復活の兆しではないかと思いました。これも藤原監督のご指導、選手の方、スタッフの方々の大変な努力の賜物ではないかと思えます。

文武共に「強い中大」の復活に期待したく、来年の箱根駅伝第百回大会が待ち遠しく、今から楽しみでなりません。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ(<http://www.chuo-u-pej.org/>)から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「新年、あけましておめでとうございます」：坂林和重さん（電気電子部門）	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 幹事会報告	3 ページ
■ 大学支援部会報告	5 ページ
■ 広報部会報告	5 ページ
活動計画	6 ページ
■ 大学支援部会報告	6 ページ
■ 企画部会活動計画	6 ページ
リレーエッセイ	7 ページ
■ 「高知でチルく働いてみませんか？」：野中のぞみさん（建設部門）	7 ページ
投稿エッセイ	9 ページ
■ 「1995年1月17日、覚えていますか？」：小林 進さん（情報工学、総合技術監理部門）	9 ページ
■ 第3回理工ホームカミングデーの紹介（編集後記に代えて）：広報部会	10 ページ

■ 「新年、あけましておめでとうございます」：坂林和重さん（電気電子部門）

（１）新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。（この原稿を書いているのは、12月下旬ですが）この原稿を見ていただくときは、1月の中旬でしょうか。皆さんが、良い年を迎えられたことと思います。去年は、コロナがあるので三が日を避けて初もうでに出かけました。2023 年は、心配せずに初もうでに出かけたいと思います。また、3 人の孫に遊んでもらって、幸せな正月になっている事と思います。お酒も少しいただこうと思います。お酒を飲みながら、箱根駅伝です。良い結果が出ていることを祈念しています。初夢は優勝でしょうか。



初夢と言えば、昨年第 1 次試験の成績が、全国第 2 位でした。在校生が頑張ってくれました。我々周りの者は、在校生の手助けしかできません。それでも何ができるかいろいろと模索した 1 年でした。2023 年 3 月には、良い結果が出ていれば、まさに初夢になると思います。皆様のご声援を期待しております。

（２）2022 年の振り返り

2022 年で一番大きな出来事は、上にも書いたように第 1 次試験が全国第 2 位に輝いたことだと思います。2021 年が第 5 位であったことから考えると、非常にうれしく思っています。

その成績は、下記の在大学生です。

中大技術士会調べ

在 学 生			社 会 人		
No	大学	合格者人数	No	大学	合格者人数
1	日本大学	101	1	東京大学	173
2	中央大学	82	2	京都大学	166
3	青山学院大学	55	3	日本大学	124
4	佐賀大学	45	4	九州大学	115
5	九州大学	45	5	大阪大学	114
			22	中央大学	38

また、その隣にある社会人は、卒業生の成績です。卒業生と比較すると、全国 22 位です。何とか卒業生でも第 5 位以内に入りたいと思います。と言いますのは、第 1 次試験で出題される問題の 63%は、過去問題の類似です。そのため、50%以上の合格点を取るには、過去問題の解答練習で充分です。もしこのニュースレターを見ている OB・OG で第 1 次試験にチャレンジする人がいれば、中大技術士会に問合せしてもらえればと思います。試験に出やすい過去問題の分類や、予想問題などでご支援をさせていただければと思います。

（３）2023 年に向けて

さて、2023 年です。2023 年は、前年以上の成績が求められます。前年以上は、あと 1 つしか

ないので、厳しい目標です。しかしながら、やり方さえ適切であれば、到達可能な目標です。実施内容は、次です。

- 1, 過去問題から出題傾向を調べる
- 2, 出題率の高い問題について解答方法を暗記する
- 3, 予想問題で実力確認して弱点補強する

さらには、第2次試験です。第2次試験は、中央大学が、360人受験して30人の合格です。大学別順位で28番目になります。何とか5番以内に入れたいと思います。中大技術士会会員のご支援をいただければと思います。

(4) さいごに

最後に、中大技術士会会員の皆様の2023年のご多幸を祈念して、新年のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

活動報告

幹事会報告

行事名	開催日程	活動概要
2022年度 第3回幹事会 (WEB会議)	9月30日(金) 18:30~19:40	<p>(1) 各部会報告</p> <p>• 総務部会報告</p> <p>①2023年度以降の「キャリアデザインと倫理」への派遣講師の選考について →講師枠3名に対して4名を推薦しました、今後、大学側で最終選考を行い、惜しくも外れた方は「技術者倫理」のゲスト・スピーカーとして講義をお願いする予定です</p> <p>②中大技術士会の団旗/支部旗の所在確認と今後の対応について →再購入をする事で了承されました。団旗の見積もり額は73,700円、必要に応じてポール(棒)を含めて購入し、最終見積額を連絡します。</p> <p>③第18回定時総会の開催時期に関する提案&協議 →2022年度末の2023/3/5(日),11(土),12(日)を総会の候補日として、理工学部長の梅田教授に確認して全て対応可能な連絡を頂きました。次回の12月の幹事会で総会開催に向けた準備を進めていきます。</p> <p>④國島幹事長代行の幹事長への人事案について →幹事長代行の期間も一年経過したので國島幹事長代行の幹事長への人事案は承認され、今後、会則などに則り、学会の事務局への届け出などを行う予定です。</p> <p>• 企画部会報告</p> <p>①令和4年度第1回講演会 →総会後の特別講演として、坂林会長による「技術士第一次試験及び第二次試験に向けた受験対策」(仮称)の講演を企画しています。</p> <p>②秋の学園祭について →全体の第31回ホームカミングデー、白門祭はオンライン開催の為、当会からの参加はありません、但し、第3回の理工ホームカミングデー:10/29(土)にハイブリッドで開催予定(13:30-17:00)です。</p> <p>③中央大学の法曹会との交歓会</p>

<p>2022 年度 第 4 回幹事会 (ハイブリッド会議；対面 +WEB 会議)</p>	<p>12 月 16 日 (金) 18:00～19:00</p>	<p>→交歓会は対面が基本なので今後のコロナ感染状況などから検討していく。</p> <p>• 広報部会報告</p> <p>①サーバー運用に関して →10 月：サーバーのドメイン名更新手続き実施予定 費用：1,886 円（昨年の実績） 12 月：サーバーの利用更新手続きを行う予定 費用：5,238 円（昨年の実績）</p> <p>②ニュースレターNo.56 の発行に向けて →原稿の入手状況は、概ね、順調で、10/5 に校了予定</p> <p>• 大学支援部会報告</p> <p>① 技術士一次試験の模擬試験 →大学からの要請により 11/19(金)、5533 教室にて対面にて開催されます。 →合格率アップに向けた新たな試みとして、模擬試験終了後に、1)「適性科目」の Q&A 方式の講義を実施し、2)「基礎科目」の解説書を配布します。</p> <p>②模擬試験に係るプロジェクト活動を発足し、キックオフミーティングを 10/1 に開催します。</p> <p>③学生向けガイダンスのオンデマンド動画のアクセス数の紹介 → 学生からの manaba のアクセス数は 200 名程度であり、実際にオンデマンド動画を視聴したかは不明の為、今後、C-plus のメール連絡などで学生への周知を図ります。</p> <p>• グリーンインフラ勉強会</p> <p>①石川教授（研究開発機構 機構教授）の体調不良で休止していましたが、二回目の会合を計画中。神宮外苑の再開発&銀杏並木の伐採と共に、今後の理工後楽園キャンパスの「グリーンインフラ化」なども計画中です。</p> <p>(1) 各部会報告</p> <p>• 総務部会報告</p> <p>①中大技術士会の団旗／支部旗について →発注した団旗&支部旗は納入され、会計処理されました(75,700 円)。</p> <p>②10/20 の中央大学工学部事務室：吉原様との情報交換について →総会への梅田理工学部長の参加は、「3/11(土)14～15 時の 1 時間；Zoom」で決定しました。 →総会の開催と同日に「第 1 次技術士試験の合格者への表彰&記念品の授与式（仮称）」を対面ベースで企画します。</p> <p>• 企画部会報告</p> <p>①2023/3/11(土)の第 18 回定時総会の開催の案内/通知を～2023/2/初までに発行します。</p> <p>②総会の会議形式はハイブリット（対面+オンライン）をベースに準備します。</p> <p>③総会終了後の特別講演会は、坂林会長の講演を予定しています。</p> <p>• 広報部会報告</p> <p>①ニュースレターNo.57 の発行に向けた準備など</p>
---	--	---

	<p>・大学支援部会報告</p> <p>①11/19（土）の技術士一次試験の模擬試験について → 学生からの模擬試験の事前の参加連絡 62 名 → 試験終了後の答え合せ参加 42 名で 3 科目共に 50%以上の正答者は 19/42 名でした。</p> <p>②今後の模擬試験への学生の参加者数の増加に向けて → PR 活動と共に、正答率の向上などを図っていく方策の必要性を確認しました。</p> <p>・グリーンインフラ勉強会</p> <p>①石川教授（研究開発機構 機構教授）と連携する勉強会/活動について → 神宮外苑の街路樹、後樂園キャンパスの「グリーンインフラ化」などの紹介</p> <p>・その他</p> <p>①秋の中央大学の理工のホームカミングデーに小林さん、金川さんが参加しました。 → 理工 10 学部対抗のパネルディスカッションの紹介など</p> <p>②本年度に学会事務局に提出した「進路（就職）相談会補助金申請書」は本年 2022 年 3 月の第一次技術士試験に合格した学生への「表彰状+記念品（中大技術士会のロゴ入り定規）」で申請しました。</p>
--	--

■ 大学支援部会活動報告

項目	内容										
技術士第一次試験に係る模擬試験	<p>・今年度は、大学からの要請により対面にて実施（11月19日（土））42名が模擬試験受験（その他5名に自宅受験のための問題・解答配布）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>合格点/受験人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適性科目</td> <td>32/42 人</td> </tr> <tr> <td>基礎科目</td> <td>36/42 人</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>27/42 人</td> </tr> <tr> <td>3科目合計</td> <td>19/42 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考：令和 3 年度の大学別全国 2 位における本番での合格者は計 82 人）</p> <p>* 本年の受験人数不足は PR 不足と推認され、この反省を来年6月から実施する PR 活動に生かしたい。</p> <p>* 来年度は、専門科目のオリジナル予想問題を準備し、模擬試験の受験者数アップを図りたい。</p>	科目	合格点/受験人数	適性科目	32/42 人	基礎科目	36/42 人	専門科目	27/42 人	3科目合計	19/42 人
科目	合格点/受験人数										
適性科目	32/42 人										
基礎科目	36/42 人										
専門科目	27/42 人										
3科目合計	19/42 人										

■ 広報部会活動報告

項目	内容
サーバー運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメイン名（chuo-u-pej.org）の維持手続き実施 ・サーバーの利用の更新手続き実施
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.57の作成、発行（1/31）
HP新規掲載	①ニュースレターvol.56の掲載
その他	<p>第3回理工ホームカミングデー、10月29日が開催され、中大技術士会からは、金川名誉顧問と小林副会長が参加しました。金川名誉顧問より10学科横断の同窓会として中大技術士会が存在することが理工学部長に提言がありました。今後、注目されることになるかと思えます。</p> <p>また、記念行事の最後には、恒例の「惜別の歌」を勝山達志のすばらしいナレーションのもとで、コロナ禍の中のため声を出さずに全員で歌</p>

項目	内容
	いました。
会員の皆様へのお願い	<p>① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org</p> <p>② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談など、何でも構いません。皆さんからの積極的な応募をお待ちします。</p> <p>③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「趣味」や「近況報告」を共通テーマとしたリレーエッセイを（Vol.36）より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。</p> <p>また、リレーエッセイの投稿をご希望の方は遠慮無く、toiawase@chuo-u-pej.orgまで、お問い合わせください。意外な繋がりが生まれるかも知れません。</p>

活動計画

■ 大学支援部会活動計画

行事	日程	内容
第一次試験合格者の理工学部長表彰	3月11日（土）	中大技術士会総会時に合わせて実施計画

■ 企画部会活動計画

行事	日程	内容
中大技術士会 R4 第1回講演会 (例年、定時総会時の特別講演会として開催)	2023年3月11日（土）	坂林会長による技術士第一次試験及び第二次試験に向けた受験対策の講演を計画しています。

■ 「高知でチルく働いてみませんか?」: 野中のぞみさん (建設部門)

2000年に理工学研究科土木工学専攻の修士課程を修了した野中のぞみです。卒業以来地元の高知県で地質調査の仕事をしています。この仕事は道路、橋、トンネル、ダム、植物園、動物園、学校色々な施設に関われる特殊な仕事だと思います。

在学当時、土木工学科には女子学生はごく少数で、こんなわたしでもアイドル的な立ち位置に立てていました笑。卒業して地元に戻るとき、同じ研究室に在籍していた東北出身の同級生が引っ越しのトラックを高知まで運転してくれて、そのままそのトラックを高知で乗り捨て、彼はいま、我が家で、「おい、お茶」と元みんなのアイドルの妻を屋敷しもべのごとくこき使っています。

高知にいたらなかなか大学の同級生と会うことは難しいですが、毎日のように連絡を取り合う同級生もいます。彼らのスケジュールだったり、旅先で食べているごはんだったり、松田聖子より中森明菜派であることを知っていたりします。愚痴も言い合うし、相談もしあうし、心のよりどころです。

この夏は同級生が二人、僻地の高知に遊びに来てくれました。同級生に合うと、久しぶりに会っても、すぐに二十数年前の学生時代に戻って楽しい時間が過ごせるのは同級生のいいところです。



技術士試験は一次試験に合格しています。来年あたりから夫と一緒に二次試験の受験をと考えてはいますが、最近、認めたくはないですが加齢による自分の脳みそのポンコツぶりに愕然とすることが多く、技術士への道のりは長く厳しいものになることが予想されます。このタイトルの「チル」は『ゆっくりとくつろぐ』『ゆったりと過ごす』的な意味だとか教えてくれるソウルメイトの長男も中央大学に在学しているのですが、技術士取得を考えているそうなので、家族三人で技術士取得対決が開始されます。ビリにはなりたくないです。

ところで弊社では土質及び基礎部門の技術士の方を熱く募集しております。
自然豊かで食べ物がおいしくてあたたかいひとがいる高知県でのんびりお仕事されてみませんか？

ご連絡をお待ちしております。



<次のバトンは毎日連絡を取り合う同級生、われらがエースの前川亮太さんです>

■ 「1995年1月17日、覚えていますか?」: 小林 進さん(情報工学、総合技術監理部門)

皆さんは、今から28年前の1月17日を覚えていますか。この日は、日曜日が成人の日、翌月曜日が振替休日ということもあり、連休明けの初日だった。私は、札幌で午後一に客先との打合せがあるため、朝6時過ぎに羽田空港の国内線出発ロビーにいた。そこで目にしたテレビの映像が、一瞬、何の放送か理解できなかったことを鮮明に覚えている。しかし、暫く見ていると、その日の早朝に神戸で大地震が発生し、その甚大な被害状況を報じるニュースであることが判った。



私は、前年の6月まで神戸に単身赴任していたこともあり、当時の同僚や部下がいるため他人ごとには思えなかった。しかし、これから仕事で札幌に行く自分には何もできず、同僚や部下の無事を祈る思いで飛行に乗った。新千歳空港に着き、札幌に向かう電車の社内で交わされる会話が耳に入り、何故か神戸で起きた地震が他人事のように聞こえ、違和感を抱いたことを覚えている。昨年まで神戸に住んでいたこともあり、神戸への愛着と、神戸には多くの先輩、同僚、部下がいるため、何気ない会話が他人事のように感じたのかも知れない。



写真1 神戸市ホームページ 写真から見る震災

札幌での仕事が終わると、早速、神戸にいる同僚にメールで様子を確認した。すると、当時、私が住んでいた板宿近辺は、廃墟のようになっていることが判った。また、返事をくれた方のマンションは大きく揺れ、ピアノの足が折れたとも言われていた。この他、上司は、鬼だとも言っていた。詳しく確認すると、市営地下鉄が止まり、その方は自宅から動けない状態にもかかわらず、上司は単身赴任で、会社まで歩いて行けるところに住んでいることから「直ぐに出て来い」と言われたようである。一方、私がいた職場の同僚からは、上司が行方不明との連絡があった。その上司は被害が最も大きかった長田地区に住んでおり、連絡が取れない状態が続いていた。そのため、社内でも心配の声が上がっていたが、無事に救出され、大事には至らなかった。その後、当時の様子を聞く機会があり、マンションの玄関ドアが地震の影響で歪み、部屋から出られなくなり、家の電話は不通で外部に連絡が取れない状態が1週間以上続いたようである。この間、心配した職場の方もマンション近くまで様子を見に行ったが、被災状況が酷く、マンションの玄関までは行かずに、そのまま戻ったようであった。しかし、救出されたのは、ご家族の方の力のようであった。その方の話しでは、周囲では無事ではないという雰囲気の中、ご家族の方が現地に向かうとき、テレビを見ていたお子さんが「パパのマンション壊れていないからパパ大丈夫だよ」と言ってお母さんを励ましたことが、救出に繋がったと言われていた。

暫く、当時のことを忘れていたが、いつの日か Google マップで当時住んでいた場所を確認すると、町並みは変わり、当時の面影は全くなかった。個人的には昔の町並みの方が人間味を感じ、好きであったが、防災面を考えると今の方が良いのかも知れない。その時は、私が住んでいたマンションは崩壊せずに残っており、あの地震に耐えたのかと愛しく感じた。しかし、この原稿を書くにあたり、久しぶりに Google マップで確認したところ、見当たらなくなっており、マンションのあった周辺の様子も変わり、28年という時間の流れを感じた。

第3回理工ホームカミングデーの紹介（編集後記に代えて）

第3回理工ホームカミングデーは2022年10月29日（土） 13:30～17:30、後樂園キャンパス5号館5階5534教室で行われました。中大技術士会からは金川名誉顧問と小林副会長が参加し、金川名誉会長より中大技術士会は学科横断の同窓会であると理工学部長に申し出ていました。

以下、今回の理工ホームカミングデーのプログラムと写真を紹介します。

（プログラムと写真）

（1）第Ⅰ部

- ・主催者挨拶 梅田和昇理工学部長
- ・記念講演会
講師：杉本八郎先生（工業化学科 1969年卒業）
演題：アリセプト開発秘話

（2）第Ⅱ部

- ・親子二代理工学部卒業表彰
- ・たくみ同窓会によるパネルディスカッション
- ・応援部演舞



たくみ同窓会によるパネルディスカッション



応援部演舞

・惜別の歌演奏

中大技術士会の総会に来て頂いた勝山達志様のナレーションを交えて惜別の歌の演奏が流れました。コロナ禍のため、当初、演奏のみとのことでしたが、自然と会場から歌声が聞こえてきました。



ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしております。⇒toiawase@chuo-u-pej.org
2023年1月号 中大技術士会広報部発行 ホームページ：<http://www.chuo-u-pej.org/>